

事業所名		児童発達支援事業 山形コロニー ういる天童				支援プログラム		作成日		令和7	年	2	月	12	日
法人（事業所）理念		社会福祉法人山形県コロニー協会の事業は、「当事者主体」「民間性」「企業性」を基本理念に結核回復者の人たちが社会復帰の場として、昭和37年に事業を開始しました。私たちは、早い段階から就労を見据えた活動を進め、将来の自立や就労等の可能性を広げる活動機会を提供しています。社会的・福祉的変遷はあれど、心身に障がいがあっても、生活環境と働く条件が整っているならば、多くの障がい者は社会人として自立していくことができるはずということは決して変わらないものとしています。													
支援方針		家族との信頼関係を大切にします。お子さんの発達や課題、今後の希望等について十分に話し合いながら、成長や発達に必要な活動や学習機会等を提供し、個別的な発達支援を行います。家族をはじめ、市や就園先等とも連携し、お子さんの活動と努力を共有し、たくさん認めながら本児なりの成長を応援し、地域での生活へも繋げていきます。													
営業時間		9 時		30 分から		16 時		00 分まで		送迎実施の有無		あり（特別な配慮が必要な場合に限る）			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	日常生活動作（挨拶、整理整頓、衣服の着脱、衛生管理等）を知る・保護者等と共にを行う機会等を提供しています。 生活能力（挨拶、返事や応答、他者との距離感、気持ちの伝達等）を知る・保護者等と共にを行う機会等を提供しています。													
	運動・感覚	粗大運動（楽しく元気に全身運動）、微細運動（手や指をつかう遊び）、ふれあい遊び（目と目を合わせる、感覚を知る等）等を行っています。 リズム運動等を行い、体づくりや気持ちの交流（楽しい、うれしい等）を育めるよう機会を重ねています。													
	認知・行動	視覚化や口頭指示等、お子さんが「わかる」「周囲と繋がる」機会を重ねていけるよう支援しています。 戸外等での遊びで、季節や自然に触れて興味・関心を育み、遊びが広がっていくよう関わっています。 個別や小集団で社会との交流（周囲への興味を育む、丁寧にやりとりをする等）を図っていけるような遊びを取組んでいます。													
	言語 コミュニケーション	お子さんの表情、行動、視線、言葉等で様々なやりとり・関りを重ねていけるよう支援しています。 個別や小集団で大人が仲介等をし関りを本人・保護者等と共に学ぶ機会を提供しています。													
	人間関係 社会性	母子通所を通して愛着形成を図り、社会環境へ参加する土台を育ていけるよう保護者等と活動する場を提供します。 普段の挨拶や遊び場での交流等を通して、地域の方々と繋がる機会をもっています。													
家族支援		保護者が悩み等を自分だけで抱え込まないように、相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、将来の不安に寄り添い、相談を行います。						移行支援		未就学から小学校へライフステージの切り替えを見据えサポートします。 園や関係機関と連携し、情報を共有し包括的な支援にあたります。					
地域支援・地域連携		援護市町村、所属の園、医療機関等と連絡・連携をしています。						職員の質の向上		法人内研修（個人情報保護・虐待防止・身体拘束禁止・感染症予防 他） 地域で行われる研修（山形県・山形県社会福祉研修センター 他）					
主な行事等		パパママミーティング、パパママトレーニング、季節の遊び、秋のお祭り など													